

## テーマ：「公共建築物木材利用促進法」に期待

「コンクリートから木へ」の政策が具体化している。長期優良住宅普及促進事業における地域材活用住宅への割り増し助成、地方自治体による地域材助成金の拡充、公共建築物による木造化推進など、工務店にとってビジネスチャンスは広がっている。

### 1. 公共建築物(学校や高齢者福祉施設など)に木造化の流れ

国産材の利用拡大による木材自給率の向上を狙った「公共建築物木材利用促進法」が、修正を経て5月19日に成立した。同法は、公共建築物の建材や内装材で国産木材の利用を進め、特に国が建てる3階程度の低層施設は原則木造化を義務付けた。また、道路脇のガードレールといった公共施設、民間住宅、紙パルプなどへの積極的な利用を定めている。

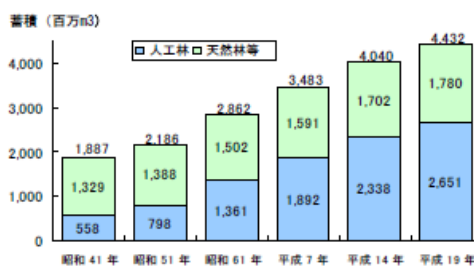
我が国では、戦後、造林された人工林が資源として利用可能な時期を迎える一方、木材価格の下落等の影響などにより森林の手入れが十分に行われず、国土保全など森林の多面的機能の低下が大いに懸念される。このような厳しい状況を克服するためには、木を使うことにより、森を育て、林業の再生を図ることが急務となっている。この法律は、こうした状況を踏まえ、現在、木造率が低く(平成20年度7.5%床面積ベース)今後の需要が期待できる公共建築物にターゲットを絞って、国が率先して木材利用に取り組むとともに、地方公共団体や民間事業者にも国の方針に即して主体的な取組を促し、住宅など一般建築物への波及効果を含め、木材全体の需要を拡大することをねらいとしている。

林野庁によると、公共建築物の年間着工床面積である約1500万㎡の4割に当たる約600万㎡が低層建築物だ。このうち非木造は約500万㎡を占めており、「木造化」の対象となり得る。仮に500万㎡の半分程度を木造にすれば、木材需要は丸太換算で年間70万~80万㎡ほど増し、現状で8%程度にとどまる新設の公共建築物の木造率は25%まで向上すると農林水産省は試算している。

木造とする公共建築物の種類は、学校、老人ホームといった社会福祉施設、病院・診療所、図書館や青少年の家をはじめとする社会教育施設、体育館、公共交通機関の待合所、公務員宿舎などを対象にする見込みだ。

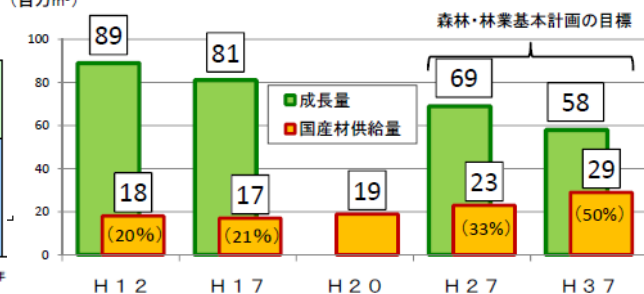
すでに、「県の施設は一定規模以下のものを原則木造化」という明確な指針を定めている県(秋田、栃木、埼玉県など7県)では、木造率は上昇している実績も見られる。

○ 我が国の森林資源の推移



資料：林野庁業務資料  
注：1)各年の3月31日現在の数値である。  
2)その他は無立木地(伐採跡地、未立木地)、竹林である。  
3)四捨五入の関係で、総数と内訳の計は必ずしも一致しない。

○ 森林の成長量と国産材供給量の比較



資料：森林・林業基本計画(林野庁)、木材需給表(林野庁)

## 2. 「木」を通して地域の連携で家づくりを推進

文部科学省と林野庁は、共同で昨年7月から「学校の木造設計等を考える研究会」（主査：長澤 悟 東洋大学教授）において、地方公共団体や設計者等が学校の木材利用に取り組みやすくなる方策について検討している。その成果として、特に課題として考えられている、木材利用の検討の進め方やコストの抑制の方法を中心に、そのポイントや、工夫した取組について事例「こうやって作る木の学校」を取りまとめた。

URL:<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/riyou/gakkou.html>

木材は、柔らかで温かみのある感触を有するとともに、室内の湿度変化を緩和させ、快適性を高める等の優れた性質を備えている。特に、建築仕上材として、適所に木材を使用することにより、温かみと潤いのある教育環境づくりができる。また、環境負荷低減や森林の保全、木の文化の継承、地域の活性化などについて学習するきっかけともなる。このことは公共建築物に限らず、地域の家づくりにおいても大いに参考になるものである。

今、地域材の普及促進のための自治体の補助事業はほとんどの都道府県で実施されているし、地域工務店だけが利用できる「長期優良住宅普及促進事業」など工務店を取り巻く環境は追い風になっている。工務店は、地場の木材店、林業組合、地域材を使った建具や家具の木工所などと連携を深めて、「地域」をキーワードにした家づくりの取り組みが求められる。このような家づくりでこそ、大手ハウスメーカーとの差別化を実現することができる。

昨年8月、愛媛県八幡浜市の日土（ひづち）小学校に、全国から800人の見学者が訪れたそうだ。この小学校は、F Lライトの弟子であった土浦亀城に学んでいた松村正恒（愛媛県大洲市出身）が昭和33年に竣工した木造校舎で、当時から独自の採光システムを導入するなど氏の代表作となっていた。その後、保存改修工事が行われて昨年竣工見学会と講演会が催されている。隠れた地域資源を再発見し、先人の設計思想を学び、自社の設計センスを磨くことも商品力を高める有効な手段となるのではないか。



普通教室は、外周を全面開口としたオープン形式。愛媛県八幡浜市立日土小学校



# トピックス:住宅瑕疵担保の供託及び保険締結状況届出 集計

## 元請工務店は、25,000 社、業態による規模の格差大きい

住宅瑕疵担保履行法により、2009年10月1日以降に新築住宅を引き渡す建設業者および宅地建物取引業者は、住宅瑕疵担保責任保険への加入または保証金の供託のいずれかの方法により資力確保が義務づけられている。国土交通省は今回、第一次基準日（2009年10月1日から2010年3月31日）の結果を公表した。

この期間に新築住宅を引き渡した建設業者は、26,199社で327,228戸、宅建業者は6,202社で130,659戸となっている。建設販売戸数は、45.8万戸になり、2009年度下期の着工戸数39.1万戸を上回っている。また届出のあった建設業者のうち、知事許可業者は25,020社、大臣許可業者は1,135社となっている。（表1）

わが国の木造建築工事業者は、83,676社（事業所統計2006年）であるが、エンドユーザーと直接請負契約を交わす元請工務店はおおよそ30%といえる。

肝心の資力確保の方法は、保証金の供託方式をとっている会社は、一部併用も含めて271社で全体の0.8%だが、建設・販売戸数では227,060戸と全体の半数を占めている。供託方式をとっている会社は、大手住宅会社や不動産マンションデベロッパーが中心と想定されるが、1社当りの建設販売戸数は1,290戸である。1290戸の供託金は、概ね1社あたり2億円となり、271社で500億円以上の資金が供託されることになる。

一方、工務店の99%は保険方式を採用しており、1社当りの建設戸数は、大臣許可業者で49.5戸、知事許可業者で6.5戸となっている。

地域工務店、大手住宅会社、デベロッパーなど業態による供給規模の格差は予想以上に大きくなっていることが分かる。

地域工務店として、存在感を維持するには棟数規模を追求するのではなく、特徴ある工務店としてのあり方を追求すべきではないだろうか。

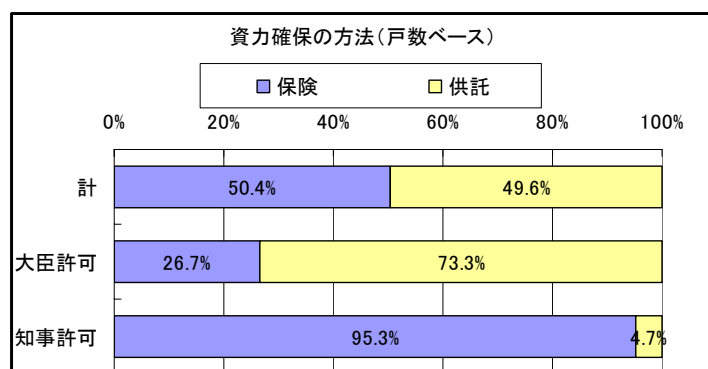
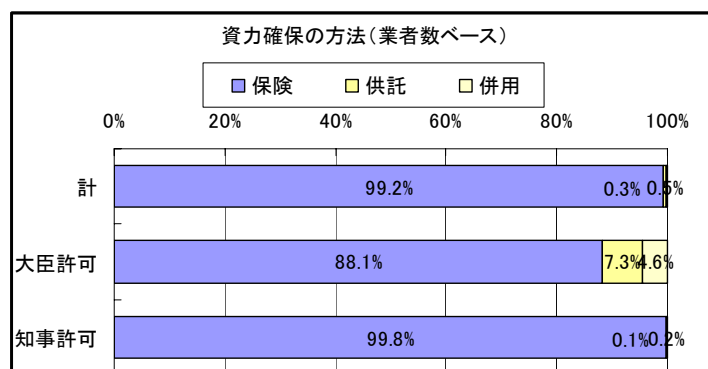


表1

■資力確保の方法別の販売・建設戸数

		宅建+建設業				建設業者				宅建業者			
		保険	供託	併用	計	保険	供託	併用	計	保険	供託	併用	計
業者数	計	32,130	176	95	32,401	26,059	101	39	26,199	6,071	75	56	6,202
	大臣許可	1,483	123	77	1,683	1,039	65	31	1,135	444	58	46	548
	知事許可	30,647	53	18	30,718	25,020	36	8	25,064	5,627	17	10	5,654
戸数	計	230,827	227,060	-	457,887	169,084	158,144	-	327,228	61,743	68,916	-	130,659
	大臣許可	79,951	219,548	-	299,499	51,418	153,104	-	204,522	28,533	66,444	-	94,977
	知事許可	150,876	7,512	-	158,388	117,666	5,040	-	122,706	33,210	2,472	-	35,682
業者あたりの戸数	計	7.2	1,290.1	-	14.1	6.5	1,565.8	-	12.5	10.2	918.9	-	21.1
	大臣許可	53.9	1,784.9	-	178.0	49.5	2,355.4	-	180.2	64.3	1,145.6	-	173.3
	知事許可	4.9	141.7	-	5.2	4.7	140.0	-	4.9	5.9	145.4	-	6.3

キタケイの提供するプライベートブランド  
 天然木にこだわったフローリングや壁材 “ リラクシングウッド ”  
 企画・製造から販売までトータルにプロデュースし、心からご満足いただける住まいづくりをバックアップします



www. relaxssingwood. com

それは、自然の創ったけがれなき繊巧美。

ウイスキーオーク	フローリング・パネル	ウォームソリッド	ピュアレックス	ガスコーニュウッド	アミテックス

## ウイスキーオークとは

森で100年。樽で50年～70年、役目を終えた樽は解体され、蒸してまっすぐな板に戻されます。  
 これがウイスキーオーク。サントリーの樽材は、すべて高級家具材にも用いられるオークの柀目板。  
 その柀目板で生まれたウイスキーオークは、家具材として優れた特性を持ち、  
 木作家にも注目されている次世代の新しい家具材です。

### フローリング



### Specification

タイプ	カラー	有効サイズ (厚み×幅×高さ)	梱包入数 (ケース)	品番	価格/束
4P-FJL	山崎	15×150×1820	1,638㎡(6枚)	W01N-4PY25506	12,600円
4P-FJL	ミディアム	15×150×1820	1,638㎡(6枚)	W01N-4PMD5506	12,600円
6P-FJL	セルティオーク	15×150×1820	1,638㎡(6枚)	W01N-6PSO5506	12,600円
3P-FJL	山崎	15×90×1820	1,638㎡(10枚)	W01N-3PY25306	12,600円
3P-FJL	ミディアム	15×90×1820	1,638㎡(10枚)	W01N-3PMD5306	12,600円